

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Coccoleto箕面校		
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別や集団など様々なニーズや子どもに合わせた対応ができる	個々のニーズに応じて、職員間で毎朝話し合いならプログラムを組み立て実施している	研修を定期的に行うことでスキルを向上させ、チームで支援を行っていく
2	多岐にわたる内容の研修を実施	虐待、感染症、支援の記録方法、プログラム、パソコン操作スキルなど、多岐にわたる内容の研修を実施している	研修を実践に活かすことができているかを評価し、より必要な知識やスキルに特化した研修を実施することを検討していく
3	言語プログラムの実施	言葉に特化したプログラムを導入。プログラムを行う職員は言語聴覚士ではないが、必要な研修を受けることでどの職員でも対応できる	研修を定期的実施することでスキルを向上させ、より良い支援を提供していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所のイベントに利用者の友だち家族も参加できる時間を設定しているが、まだ参加の実績がなく、地域との交流がない	ご案内枠が限定的であること、手紙でお知らせをしているが周知が不足している	ご案内枠を広げることは、人数やスペースの関係で難しいが、ブログ等のSNSでイベントについて広く発信をしている
2	園との交流が少ない	ご利用のお子さまの園連携は行っていますが、その他での園との交流は利用時間の関係もあり難しい	イベント等で、園との交流の機会があれば参加を検討する
3	地域の児童発達支援センターとの連携を図れていない	地域の児童発達支援センターとどのような連携がとれるかなどについての情報を収集できていない	地域の児童発達支援センターがどのようなことをしているかを調べ、連携機会を設けられるよう検討していく